



これまで、地震で堤防が壊れて津波が入って来ることに備えて、逃げることにしてたよね。

そうか。同じように安全な所まで逃げればいいんだね。それで計画が変わったところってあるの？

まず、津波が来ることが予測された避難所は開設しないことにしたんだ。

じゃあ、どこに逃げればいいのか？

避難所じゃなくても、より遠く、より高いところに逃げるのが大切なんだけど、もし逃げ遅れても、いつでも一時的に逃げ込めるように、津波避難ビルを指定しているから、ここを利用することもできるんだよ。

そうだったね。

これまでも民間施設の協力を得ながら、公共施設と合わせて津波避難ビルを増やす取り組みが進められているんだ。

これからも増えていくんだね。

うん。それに避難できる日時に限りはあるけれど利用できる施設を津波避難協力ビルに指定して、津波から逃げ込める場所を増やす取り組みも進められているんだよ。

でも、そういうビルが近くにないところもあるよね？

そうなんだ。だから普段は何かの有効利用できて、津波が来たときは逃げ込めるような施設は、どんなものがあるか考えていくことになったんだよ。

他には何か変わったの？

今年から避難勧告、避難指示の防災行政無線放送が変わるので、その修正も行ったんだ。

それって家の中では聞きづらいことがあるよね。

それを解消するため、津波警報や風水害の避難勧告などを知らせる音声放送の前に、サイレンを鳴らすことになったんだよ。

サイレンだと遠くまで聞こえるよね。

うん。サイレンが聞こえたら危険が迫っているということだから、避難を始めないといけないんだよ。

そうか。サイレンの音が聞こえたら「避難する」って決めておけばいいんだね。でも聞き逃したりしないかな？

そんなときのために事前登録をした人に、津市防災情報メールやファクスで放送内容が送られてくるサービスがあるんだ。

避難勧告や避難指示などの緊急放送の際、まずはサイレンでお知らせされるんだ！



それから、携帯電話会社のエリアメールや緊急速報メールで緊急情報を受け取ることもできるんだよ。

良かった。いつ起きるかもしれない大きな災害に備えて、いろんな取り組みが進められているんだね。じゃあ、これで取り組みは終わりのなの？

今年度は、防災計画のたくさんの項目の見直しが行われたけど、防災施策の強化には終わりが無いんだよ。だから、これからもまだまだ見直しが進められていくんだ。そうやって市も取り組んでいるから、自分たちもできることから始めなきゃね。

そうだね。みんなで協力して災害に強くなろうね。

津波が発生したら、高台の本城山(青少年公園(河芸町上野))も避難する場所として有効だね

